

PAT-NO: JP409277745A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09277745 A

TITLE: CASH AND JOURNAL BOOK

PUBN-DATE: October 28, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

FUKAKUSA, AKIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUKAKUSA AKIO	N/A

APPL-NO: JP08115521

APPL-DATE: April 11, 1996

INT-CL (IPC): B42D011/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve a problem of requiring a large amount of labor and time for inputting data into a computer in transferring from a money receipt and payment slip to a cashbook for checking the cash balance, in which transfer mistakes are easily produced and much of time is required for checking and also accounting needs expert knowledge and sometimes a person in charge of accounting commits malpractice or tax evasion, and also respective slips are of different forms and lots of works are required.

SOLUTION: A cash and journal book A1 is provided with a cash transaction filling column 1 and a transaction filling column 2 for other than the cash displayed side by side on the right of the cash transaction column. The cash transaction filling column 1 is provided with a date entry column 11 in the line direction shown on the figure, a corresponding item filling column 12, a transaction content filling column 13, a money receipt entry column 14, a money payment entry column 15 and a balance entry column 15 in the above-said order. The filling column 2 for the transactions other than cash is provided with a date entry column 21 in the line direction shown on the figure, a debit amount item filling column 22, a debit amount filling column 23, a transaction content filling column 24, a credit amount filling column 25 and a credit amount

filling column 26 in the above-said order.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-277745

(43)公開日 平成9年(1997)10月28日

(51)Int.Cl.^e

識別記号

序内整理番号

F I

技術表示箇所

B 4 2 D 11/00

B 4 2 D 11/00

B

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全6頁)

(21)出願番号 特願平8-115521

(22)出願日 平成8年(1996)4月11日

(71)出願人 396008440

深草 明夫

福岡県久留米市長門石4丁目4番19号

(72)発明者 深草 明夫

福岡県久留米市長門石4丁目4番19号

(74)代理人 弁理士 梶原 克彦

(54)【発明の名称】 現金出納・仕訳帳

(57)【要約】 (修正有)

【課題】現金残高の照合には入出金伝票から現金出納帳への転記が必要であるが、この際に転記ミスが生じやすく、照合に相当な時間を要していた。また、経理が専門的になり、経理担当者による不正や脱税を引き起こす原因となる。更には、各帳票は様式も異なるので、データをコンピュータに入力するには多大な労力と時間を必要としていた。

【解決手段】現金出納・仕訳帳A 1は現金取引記入欄1と、その右側に並べて表示してある現金以外の取引記入欄2を備えている。現金取引記入欄1は図において行方向に日付記入欄1 1と、相手科目記入欄1 2と、取引内容記入欄1 3と、入金記入欄1 4と、出金記入欄1 5と、残高記入欄1 6がこの順序で設けられている。現金以外の取引記入欄2は図において行方向に日付記入欄2 1と、借方科目記入欄2 2と、借方金額記入欄2 3と、取引内容記入欄2 4と、貸方科目記入欄2 5と、貸方金額記入欄2 6がこの順序で設けられている。

現金出納・仕訳帳		A1		2		1	
欄番	欄名	欄番	欄名	欄番	欄名	欄番	欄名
1	日付	2	相手科目	3	取引内容	4	入金
5	出金	6	残高	7	日付	8	相手科目
9	借方科目	10	借方金額	11	貸方科目	12	貸方金額
13	取引内容	14	取引内容	15	取引内容	16	取引内容
17	借方	18	貸方	19	借方	20	貸方
21	金額	22	金額	23	金額	24	金額
25	合計	26	合計	27	合計	28	合計
29	合計	30	合計	31	合計	32	合計
33	合計	34	合計	35	合計	36	合計
37	合計	38	合計	39	合計	40	合計
41	合計	42	合計	43	合計	44	合計
45	合計	46	合計	47	合計	48	合計
49	合計	50	合計	51	合計	52	合計
53	合計	54	合計	55	合計	56	合計
57	合計	58	合計	59	合計	60	合計
61	合計	62	合計	63	合計	64	合計
65	合計	66	合計	67	合計	68	合計
69	合計	70	合計	71	合計	72	合計
73	合計	74	合計	75	合計	76	合計
77	合計	78	合計	79	合計	80	合計
81	合計	82	合計	83	合計	84	合計
85	合計	86	合計	87	合計	88	合計
89	合計	90	合計	91	合計	92	合計
93	合計	94	合計	95	合計	96	合計
97	合計	98	合計	99	合計	100	合計
101	合計	102	合計	103	合計	104	合計
105	合計	106	合計	107	合計	108	合計
109	合計	110	合計	111	合計	112	合計
113	合計	114	合計	115	合計	116	合計
117	合計	118	合計	119	合計	120	合計
121	合計	122	合計	123	合計	124	合計
125	合計	126	合計	127	合計	128	合計
129	合計	130	合計	131	合計	132	合計
133	合計	134	合計	135	合計	136	合計
137	合計	138	合計	139	合計	140	合計
141	合計	142	合計	143	合計	144	合計
145	合計	146	合計	147	合計	148	合計
149	合計	150	合計	151	合計	152	合計
153	合計	154	合計	155	合計	156	合計
157	合計	158	合計	159	合計	160	合計
161	合計	162	合計	163	合計	164	合計
165	合計	166	合計	167	合計	168	合計
169	合計	170	合計	171	合計	172	合計
173	合計	174	合計	175	合計	176	合計
177	合計	178	合計	179	合計	180	合計
181	合計	182	合計	183	合計	184	合計
185	合計	186	合計	187	合計	188	合計
189	合計	190	合計	191	合計	192	合計
193	合計	194	合計	195	合計	196	合計
197	合計	198	合計	199	合計	200	合計
201	合計	202	合計	203	合計	204	合計
205	合計	206	合計	207	合計	208	合計
209	合計	210	合計	211	合計	212	合計
213	合計	214	合計	215	合計	216	合計
217	合計	218	合計	219	合計	220	合計
221	合計	222	合計	223	合計	224	合計
225	合計	226	合計	227	合計	228	合計
229	合計	230	合計	231	合計	232	合計
233	合計	234	合計	235	合計	236	合計
237	合計	238	合計	239	合計	240	合計
241	合計	242	合計	243	合計	244	合計
245	合計	246	合計	247	合計	248	合計
249	合計	250	合計	251	合計	252	合計
253	合計	254	合計	255	合計	256	合計
257	合計	258	合計	259	合計	260	合計
261	合計	262	合計	263	合計	264	合計
265	合計	266	合計	267	合計	268	合計
269	合計	270	合計	271	合計	272	合計
273	合計	274	合計	275	合計	276	合計
277	合計	278	合計	279	合計	280	合計
281	合計	282	合計	283	合計	284	合計
285	合計	286	合計	287	合計	288	合計
289	合計	290	合計	291	合計	292	合計
293	合計	294	合計	295	合計	296	合計
297	合計	298	合計	299	合計	300	合計
301	合計	302	合計	303	合計	304	合計
305	合計	306	合計	307	合計	308	合計
309	合計	310	合計	311	合計	312	合計
313	合計	314	合計	315	合計	316	合計
317	合計	318	合計	319	合計	320	合計
321	合計	322	合計	323	合計	324	合計
325	合計	326	合計	327	合計	328	合計
329	合計	330	合計	331	合計	332	合計
333	合計	334	合計	335	合計	336	合計
337	合計	338	合計	339	合計	340	合計
341	合計	342	合計	343	合計	344	合計
345	合計	346	合計	347	合計	348	合計
349	合計	350	合計	351	合計	352	合計
353	合計	354	合計	355	合計	356	合計
357	合計	358	合計	359	合計	360	合計
361	合計	362	合計	363	合計	364	合計
365	合計	366	合計	367	合計	368	合計
369	合計	370	合計	371	合計	372	合計
373	合計	374	合計	375	合計	376	合計
377	合計	378	合計	379	合計	380	合計
381	合計	382	合計	383	合計	384	合計
385	合計	386	合計	387	合計	388	合計
389	合計	390	合計	391	合計	392	合計
393	合計	394	合計	395	合計	396	合計
397	合計	398	合計	399	合計	400	合計
401	合計	402	合計	403	合計	404	合計
405	合計	406	合計	407	合計	408	合計
409	合計	410	合計	411	合計	412	合計
413	合計	414	合計	415	合計	416	合計
417	合計	418	合計	419	合計	420	合計
421	合計	422	合計	423	合計	424	合計
425	合計	426	合計	427	合計	428	合計
429	合計	430	合計	431	合計	432	合計
433	合計	434	合計	435	合計	436	合計
437	合計	438	合計	439	合計	440	合計
441	合計	442	合計	443	合計	444	合計
445	合計	446	合計	447	合計	448	合計
449	合計	450	合計	451	合計	452	合計
453	合計	454	合計	455	合計	456	合計
457	合計	458	合計	459	合計	460	合計
461	合計	462	合計	463	合計	464	合計
465	合計	466	合計	467	合計	468	合計
469	合計	470	合計	471	合計	472	合計
473	合計	474	合計	475	合計	476	合計
477	合計	478	合計	479	合計	480	合計
481	合計	482	合計	483	合計	484	合計
485	合計	486	合計	487	合計	488	合計
489	合計	490	合計	491	合計	492	合計
493	合計	494	合計	495	合計	496	合計
497	合計	498	合計	499	合計	500	合計
501	合計	502	合計	503	合計	504	合計
505	合計	506	合計	507	合計	508	合計
509	合計	510	合計	511	合計	512	合計
513	合計	514	合計	515	合計	516	合計
517	合計	518	合計	519	合計	520	合計
521	合計	522	合計	523	合計	524	合計
525	合計	526	合計	527	合計	528	合計
529	合計	530	合計	531	合計	532	合計
533	合計	534	合計	535	合計	536	合計
537	合計	538	合計	539	合計	540	合計
541	合計	542	合計	543	合計	544	合計
545	合計	546	合計	547	合計	548	合計
549	合計	550	合計	551	合計	552	合計
553	合計	554	合計	555	合計	556	合計
557	合計	558	合計	559	合計	560	合計
561	合計	562	合計	563	合計	564	合計
565	合計	566	合計	567	合計	568	合計
569	合計	570	合計	571	合計	572	合計
573	合計	574	合計	575	合計	576	合計
577	合計	578	合計	579	合計	580	合計
581	合計	582	合計	583	合計	584	合計
585	合計	586	合計	587	合計	588	合計
589	合計	590	合計	591	合計	592	合計
593	合計	594</					

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 経理業務に使用する現金出納・仕訳帳であって、現金取り引きを記入する現金取引記入欄と、現金以外の取り引きを記入する現金以外の取引記入欄と、が並べて表示しており、上記現金取引記入欄は、日付記入欄と、相手科目記入欄と、取引内容記入欄と、入金記入欄と、出金記入欄と、残高記入欄と、を備えており、上記現金以外の取引記入欄は、日付記入欄と、取引内容記入欄と、借方科目記入欄と、借方金額記入欄と、貸方科目記入欄と、貸方金額記入欄と、を備えていることを特徴とする、現金出納・仕訳帳。

【請求項2】 上記借方科目記入欄と上記貸方科目記入欄が隣接して表示することを特徴とする、請求項1記載の現金出納・仕訳帳。

【請求項3】 上記借方金額記入欄と上記貸方金額記入欄が統合されていることを特徴とする、請求項1または2記載の現金出納・仕訳帳。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、現金出納・仕訳帳に関するものである。更に詳しくは入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳を一つに統合し、管理業務やコンピューターへの入力が容易にできる現金出納・仕訳帳に関するものである。

【0002】

【従来技術】従来の経理業務においては、現金入金には入金伝票、現金出金には出金伝票、現金の伴わない取り引きには振替伝票が使用されており、取り引き毎にこれらの伝票に記入し、出金伝票と入金伝票の記入値を現金出納帳に転記して現金残高を計算し、実際の現金在り高と照合する方法がとられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記したような従来の帳簿方式では、次のような課題があった。

(a) 入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票を使用するために、経理が専門的になり、最終的には経理担当者がまとめることになる。このため、帳簿内容が経営者や一般従業員の目に届かない存在となりやすく、経理担当者による不正や脱税を引き起こす原因となる。

2

(b) 現金残高の照合には入出金伝票から現金出納帳への転記が必要であるが、この際に転記ミスが生じやすく、照合に相当な時間を要していた。

【0004】(c) 最低限必要な記入が、一応は入金伝票、出金伝票、振替伝票になされているので、現金出納帳への転記作業を後日まとめてしようとしたところである。このため、月々の際の作業が大変な量となりやすく、この場合、転記や照合に多大の労力と時間が必要であった。

10 (d) 従来の振替伝票等は、最低でも一日につき一枚は必要であり、用紙の無駄になることが多く、量も膨大になるために、過去の取引を検索する際にも効率が悪かった。また、帳票の管理が煩雑であるため帳票を紛失してしまう心配があった。

【0005】(e) 経理業務においてもコンピューター化が進み、企業や商店など加速度的に導入が進んでいる。コンピューターに取引の仕訳を入力すれば必要な帳簿のすべてを出力できるようになり便利ではあるが、反面、不正な仕訳が入力されても結果が正当であるかのように出力されるという問題もある。そこで、入力に至るまでの過程でいかに不正をなくし、正しく効率的に処理するかが課題となる。しかし、従来の帳簿方式では、帳票の種類も多く、様式も異なるので、データをコンピュータに入力するには多大な労力と時間を必要とする。また、帳票が単一様式でないことによって、入力重複、装置開発の困難さ、ファクシミリ送受信の煩雑さ等様々な課題を生じている。

【0006】本発明は上記課題を解消するもので、従来から使用されていた入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票をまとめて様式を单一化し、毎日の記帳を容易にまとめることができる現金出納・仕訳帳を提供することを目的とする。また、記帳、管理業務を複数人でできるようにして、税務上、信頼性の高い現金出納・仕訳帳を提供することを目的とする。更には、コンピューターへの入力やOCRによる自動読み取り、ファクシミリ送受信が容易にできる現金出納・仕訳帳を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため40に講じた本発明の手段は次のとおりである。第1の発明にあっては、経理業務に使用する現金出納・仕訳帳であって、現金取り引きを記入する現金取引記入欄と、現金以外の取り引きを記入する現金以外の取引記入欄と、が並べて表示しており、上記現金取引記入欄は、日付記入欄と、相手科目記入欄と、取引内容記入欄と、入金記入欄と、出金記入欄と、残高記入欄と、を備えており、上記現金以外の取引記入欄は、日付記入欄と、取引内容記入欄と、借方科目記入欄と、借方金額記入欄と、貸方科目記入欄と、貸方金額記入欄と、を備えている、現金出納・仕訳帳である。

3

【0008】第2の発明にあっては、上記借方科目記入欄と上記貸方科目記入欄が隣接して表示してある、第1の発明に係る現金出納・仕訳帳である。

【0009】第3の発明にあっては、上記借方金額記入欄と上記貸方金額記入欄が統合されている、第1または第2の発明に係る現金出納・仕訳帳である。

【0010】日付記入欄は、取り引きが行われた日付を記入するものである。相手科目記入欄は、取り引きの目的、対象などを記入するものである。取引内容記入欄は、現金で取り引きされた取り引き内容の具体的な内容を記入するものである。入金記入欄は、現金で入金された金額を記入するものである。出金記入欄は、現金で出金された金額を記入するものである。残高記入欄は、入金または出金時点での現金の残高を記入するものである。取引内容記入欄は、現金以外で取り引きされた取り引き内容の詳細を記入するものである。

【0011】借方科目記入欄は、現金以外で取り引きされた取引に関する借方科目（資産の増加、負債の減少、資本の減少、収益の減少、費用の発生を示す勘定科目）を記入するものである。貸方科目記入欄は、現金以外で取り引きされた取引に関する貸方科目（資産の減少、負債の増加、資本の増加、収益の発生、費用の減少を示す勘定科目）を記入するものである。借方金額記入欄と貸方金額記入欄は、現金以外で取り引きされた借方科目と貸方科目の金額を記入するものである。

【0012】（作用）現金出納・仕訳帳の現金取引記入欄には、日付ごとに取り引きのあった相手科目とその取引内容、入出金がその都度記入される。現金出納・仕訳帳の現金以外の取引記入欄には、日付ごとに取引のあった取引内容、借方科目、貸方科目とそれぞれの金額が記入される。

【0013】現金出納・仕訳帳は、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の機能を一様式に統合しているので、取引の発生時にはそれぞれの担当者が同じ帳簿に各取引を記帳することになり、その都度帳簿が作成されていく。これによって、帳簿の現金残高の計算と実際の現金在り高の照合のみで一日の記帳が完結する。また、帳簿を直接記し作成していくので、従来のように入出金伝票から現金出納帳に転記する必要がなく、転記ミスの心配もなくなるので、業務の効率が向上する。

【0014】記帳される各欄が取引内容と関連付けられているので記帳が専門的にならず、経理担当者だけでなく、経営者や一般従業員がみても内容がつかみやすい。また、上記取引内容の記入は、通常はそれぞれの担当者が記入するので、複数の人が記入に携ることになる。従って、税務上、帳簿の信頼性が高く、不正なども起こりにくい。また、例えば、各部門ごとに使用すると、信頼性の高い帳簿が毎日作成されるため、内部監査等も効率化できる。

【0015】記帳は経時的に行うようになっているの

4

で、一日の現金取引をすべて記入しないと次の日の取引内容が記帳できなくなる。従って、日々の現金残高照合が習慣となり、月々にまとめて大量の記帳や照合をしなければならなくなることを防止できる。

【0016】日々の記帳には現金出納・仕訳帳しか使用しないので、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票を別々に使用していた従来の方式と比較して用紙を大幅に節約できる。これは、省資源の観点からも、特に有用である。また、従来のように帳票を紛失する心配もなくなり、これが原因で経理業務に支障をきたすことはない。

【0017】現金出納・仕訳帳には、従来使用されている各帳票に記入される項目を同様に備えているので、記入された内容から総勘定元帳、売掛帳、買掛帳、計算表など全ての必要な帳簿が容易に作成できる。また、記帳内容の一覧性が高いので整理、保管が簡単であり、過去の取引の検索なども容易にできる。

【0018】経理業務をコンピューター化する際のOCRによる自動読み取りについても、現金出納・仕訳帳のみを読み込むだけでよいので、読み取り装置の開発あるいは操作が簡単になる。また、ファクシミリによる送受信の場合も、現金出納・仕訳帳のみを送受信すればよく、従来と比較して送受信作業の煩わしさを軽減できる。

【0019】借方科目記入欄と貸方科目記入欄が隣接して表示してあるものにあっては、取引による金銭の移動がより明確になり、貸借についての経理指導や記帳指導が容易になる。

【0020】借方金額記入欄と貸方金額記入欄が統合されているものにあっては、金額を記入する作業が一度で済むので、効率的である。なお、この借方金額及び貸方金額は、売掛金及び買掛金や当座預金から普通預金への振替等を記載していくので、原則として借方、貸方とも金額は同じになり、双方を統合しても実務上支障はない。

【0021】

【発明の実施の形態】本発明を図面に示した実施例に基づき更に詳細に説明する。図1は本発明に係る現金出納・仕訳帳の第1の実施の形態を示し、取引内容や金額などを記入した状態を示す説明図である。符号A1は現金出納・仕訳帳で、現金取引記入欄1と、その右側に並べて表示してある現金以外の取引記入欄2を備えている。現金取引記入欄1は現金での取引内容や科目を記入するもので、図において行方向（横方向）に日付記入欄11と、相手科目記入欄12と、取引内容記入欄13と、入金記入欄14と、出金記入欄15と、残高記入欄16がこの順序で設けられている。なお、この順序は適宜変えることもできる。

【0022】現金以外の取引記入欄2は現金以外での取引内容や科目を記入するもので、図において行方向に日

50

付記入欄21と、借方科目記入欄22と、借方金額記入欄23と、取引内容記入欄24と、貸方科目記入欄25と、貸方金額記入欄26がこの順序で設けられている。上記記入欄11、12、13、14、15、16、21、22、23、24、25、26は線分で区画されて列方向へ経時的に記入できるよう設けてある。

【0023】図1を参照して本実施の形態の作用を説明する。

(1) 現金取引があった場合

現金取引記入欄1の日付記入欄11にその発生した日付を記入する。相手科目記入欄12に相手科目を記入する。これには現金の取引の目的や対象などを記入する。相手科目はコンピューター処理が簡単なように、予めコード化して処理するようにしてもよい。取引内容記入欄13に相手科目の具体的な内容を記入する。これによって、図に示すように、例えば相手科目記入欄12は同じ「普通預金」であるが、取引された銀行が異なっていることがわかる(8月23日のa、8月25日のbの行を比較参照)。

【0024】入金記入欄14、出金記入欄15にはそれぞれ取引があった金額を記載する。残高記入欄16は一日の取引において最終残高のみを記入する。残高記入欄16は一日ごとの記載になり、最終的な実際の現金在り高と照合すれば、その日の入出金額の記入に間違いがないか簡単に確認できる。また、取引内容は経時に記入するようになっているので、取引ごとに確実に記載しなければ計算が合わなくなる。従って、後日まとめて記入するということがなくなる。更には、転記する必要がないので、業務の効率化を図ることができる。

【0025】(2) 現金以外の取引があった場合
日付記入欄21にその日付を記入し、借方科目記入欄22と貸方科目記入欄25にそれぞれ科目を記入する。これは現金以外の取引の対象または目的などを記入する。借方科目及び貸方科目は、コンピューター処理が簡単なように、上記相手科目と同様に予めコード化して処理してもよい。取引内容記入欄24には科目の具体的な内容を記入する。これによって、取引内容が明確になる。借方金額記入欄23と貸方金額記入欄26にはそれぞれ取引があった金額を記載する。また、現金取引記入欄1と現金以外の取引記入欄2が並べて表示してあるので一日の取引がすべて一覧できる。

【0026】図2は本発明に係る現金出納・仕訳帳の第2の実施の形態を示し、取引内容や金額などを記入した状態を示す説明図である。なお、図面において上記現金出納・仕訳帳A1と同一または同等箇所には同一の符号を付して示している。本実施の形態に係る現金出納・仕訳帳A2では、借方科目記入欄22と貸方科目記入欄25が隣接して設けられている。これによれば、取引による金銭の移動がより明確になり、貸借についての経理指導や記帳指導が容易になる。

【0027】また、現金出納・仕訳帳A1における借方金額記入欄23と貸方金額記入欄26は、現金出納・仕訳帳A2においては金額記入欄27として統合されて設けられている。これによれば、金額を記入する作業が一度で済むので、効率的である。なお、本発明は図示の実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲の記載内において種々の変形が可能である。

【0028】

【発明の効果】本発明は上記構成を備え、次の効果を有する。

(a) 現金出納・仕訳帳は、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の機能を一様式に統合しているので、取引の発生時にはそれぞれの担当者が同じ帳簿に各取引を記帳することになり、その都度帳簿が作成されいく。これによって、帳簿の現金残高の計算と実際の現金在り高の照合のみで一日の記帳が完結する。また、帳簿を直接記入し作成していくので、従来のように入出金伝票から現金出納帳に転記する必要がなく、転記ミスの心配もなくなるので、業務の効率が向上する。

【0029】(b) 記帳される各欄が取引内容と関連付けられているので記帳が専門的にならず、経理担当者だけでなく、経営者や一般従業員がみても内容がつかみやすい。また、上記取引内容の記入は、通常はそれぞれの担当者が記入するので、複数の人が記入に携ることになる。従って、税務上、帳簿の信頼性が高く、不正なども起こりにくい。また、例えば、各部門ごとに使用すると、信頼性の高い帳簿が毎日作成されるため、内部監査等も効率化できる。

【0030】(c) 記帳は経時的に行うようになっているので、一日の現金取引をすべて記入しないと次の日の取引内容が記帳できなくなる。従って、日々の現金残高照合が習慣となり、月々にまとめて大量の記帳や照合をしなければならなくなることを防止できる。

【0031】(d) 日々の記帳には現金出納・仕訳帳しか使用しないので、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票を別々に使用していた従来の方式と比較して用紙を大幅に節約できる。これは、省資源の観点からも特に有用である。また、従来のように帳票を紛失する心配もなくなり、これが原因で経理業務に支障をきたすことはない。

【0032】(e) 現金出納・仕訳帳には、従来使用されている各帳票に記入される項目を同様に備えているので、記入された内容から総勘定元帳、売掛帳、買掛帳、計算表など全ての必要な帳簿が容易に作成できる。また、記帳内容の一覧性が高いので整理、保管が簡単であり、過去の取引の検索なども容易にできる。

【0033】(f) 経理業務をコンピューター化する際のOCRによる自動読み取りについても、現金出納・仕訳帳のみを読み込むだけでよいので、読み取り装置の開発あるいは操作が簡単になる。また、ファクシミリによ

る送受信の場合も、現金出納・仕訳帳のみを送受信すればよく、従来と比較して送受信作業の煩わしさを軽減できる。

【0034】(g) 借方科目記入欄と貸方科目記入欄が隣接して表示してあるものにあっては、取引による金銭の移動がより明確になり、貸借についての経理指導や記帳指導が容易になる。

【0035】(h) 借方金額記入欄と貸方金額記入欄が統合されているものにあっては、金額を記入する作業が一度で済むので、効率的である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる現金出納・仕訳帳の第1の実施の形態を示し、取引内容や金額を記入した状態を示す説明図。

【図2】本発明にかかる現金出納・仕訳帳の第2の実施の形態を示し、取引内容や金額を記入した状態を示す説明図。

【符号の説明】

A 1、A 2 現金出納・仕訳帳

1 現金取引記入欄

1 1 日付記入欄

1 2 相手科目記入欄

1 3 取引内容記入欄

1 4 入金記入欄

1 5 出金記入欄

1 6 残高記入欄

10 2 現金以外の取引記入欄

2 1 日付記入欄

2 2 借方科目記入欄

2 3 借方金額記入欄

2 4 取引内容記入欄

2 5 貸方科目記入欄

2 6 貸方金額記入欄

2 7 金額記入欄

【図1】

		A1													
		現金出納・仕訳帳						現金出納・仕訳帳							
		月	日	年	科	金	入	出	金	科	金	入	出	金	年
a	1	1	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	2	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	3	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	4	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	5	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	6	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	7	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	8	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	9	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	10	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
b	1	11	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	12	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	13	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	14	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	15	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	16	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	17	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	18	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	19	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
	1	20	1	95	現金	100.00			100.00	現金	100.00			100.00	95
		11	12	13	14	15	16	21	22	23	24	25	26		

【図2】

A2

金社5		支社5		支社6		支社7	
月日	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金
0 11 現金							45,000
11 10月 15 日 上野販賣部会員	10,000						
11 10月 15 日 フィルム、ノート	3,000						
11 10月 15 日 未入金	2,000						
11 10月 15 日 銀行手数料	600	45,710					
11 10月 15 日 上野販賣部会員	100,000						
11 10月 15 日 上野販賣部会員	35,000						
11 10月 15 日 未入金	6,000						
11 10月 15 日 未入金 A不換算	72,100	87,714					
11 10月 15 日 未換算 代款入金	100,000						
11 10月 15 日 上野販賣部会員	46,070						
11 10月 15 日 ○現金仕上金 廉子	410						
11 10月 15 日 現金仕上金	270	427,044					
11 10月 15 日 大和百貨会員	100,000						
11 10月 15 日 未分取会員	100,000						
11 10月 15 日 未分取会員	170,100						
11 10月 15 日 社会保険料	157,320						
11 10月 15 日 未支拂会員	1,000						
11 10月 15 日 未換算会員	50,000						
11 10月 15 日 銀行手数料	60,100	300,200					
11 10月 15 日 銀行手数料 D総合	85,200	115,416					

現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金
月日	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金	現 手 金
11 12							
11 13							
11 14							
11 15							
11 16							
21							
21 24							
21 22							
21 25							
21 27							